

令和3年度

岩手大学における動物実験に関する情報

岩手大学

令和4年11月

1. 令和3年度の有効実験計画書数

	令和3年度有効 計画書数	令和3年度新規 承認計画書数	令和3年度 変更・追加承認数
研究目的動物実験計画書	123	47	6
教育目的動物計画書	19	8	0
合計	142	55	6

2. 令和3年度の教育訓練の実績

(1) 実施日程等

講習会名	受講者数	実施日時	備考
動物実験実施者等向け講習会（上半期）	27	3月	コロナ禍のため、オンラインで実施（通常は対面で実施）
動物実験実施者等向け講習会（下半期）	54	10月	コロナ禍のため、オンラインで実施（通常は対面で実施）
（それ以外のタイミングでの受講）※	64	-	オンライン
合計	145		

※ 講習期間中に受講出来なかった者。学内ページオンライン受講での対応

(2) 講習会概要

- ・「岩手大学における動物実験の概要」（12分）
- ・「岩手大学の動物実験従事者に対する教育訓練」（96分）
 - ① 関連法令、指針、規程等
 - ② 動物実験等の方法に関する基本的事項
 - ③ 動物実験の飼養保管に関する基本的事項
 - ④ 安全確保、安全管理に関する事項（人獣共通感染症に関する事項を含む）
 - ⑤ 情報公開、教育訓練

3. 動物実験委員会の委員構成

- ・ 委員長（農学部教授、実験動物学、獣医師・実験動物医学専門医）：実験動物の専門家
- ・ 副委員長（農学部准教授、獣医生理学、獣医師・実験動物医学専門医）：実験動物の専門家
- ・ 委員（人文社会科学部教授、経済理論）：その他の学識経験を有する者
- ・ 委員（理工学部准教授、動物生殖・発生学）：動物実験等を行う研究者
- ・ 委員（農学部教授、分子生物学）：その他の学識経験を有する者
- ・ 委員（教育学部教授、理科教育）：動物実験等を行う研究者
- ・ 委員（農学部教授、公衆衛生学、獣医師）：動物実験等を行う研究者

- ・ 保健管理センター長（医師、公衆衛生学）：その他の学識経験を有する者
- ・ 研究・地域連携部長：その他の学識経験を有する者

4. 飼養保管施設・動物実験室の総数と主な飼養保管施設の名称

飼養保管施設数	13室
動物実験室	31室

- ・ 全学実験動物飼育室、動物病院飼育室（※令和4年3月31日現在）

5. 令和3年度に岩手大学で飼養した実験動物種及び実験動物数

岩手大学動物実験等管理規則第32条に基づき、令和3年度に岩手大学で飼養した実験動物種および実験動物数を以下のとおりお知らせいたします。

動物種	動物数
ニワトリ	620
鶏卵・ウズラ卵	890
ラット	1,982
マウス	2,933
イヌ	10
ネコ	35
ヒツジ	24
ウシ	214
ウサギ	7
カメ	10
合計	6,737